

## 今年もやります

リユース事業（本の払い下げ）  
10月28日(土)、29日(日)  
午前10時15分から午後4時まで



昨年の様子

図書館本館3階学習室にて、除籍した本を約7000冊展示します。  
2日目にも本を追加します。ぜひ両日ともお越しください。  
一人10冊まで持ち帰ることができます。  
1階では寄贈本のリユースコーナーも設ける予定です。  
こちらはご自由にお持ち帰りいただけます。

- \*本を入れる袋やエコバッグなどを、お持ちください。
- \*お持ち帰りになった本は、自宅で処分してください。図書館の返却ポストに入れないようにお願いします。
- \*できるだけ公共交通機関をご利用ください。図書館駐車場が満車の場合は、市役所駐車場へ停めてください。

## 職員のおすすめ《この書き手に注目！》

### 武田 百合子

(たけだ ゆりこ 1925～93年 神奈川県生まれ)  
旧制高女卒。武田泰淳と結婚、夫の死後『富士日記』(中央公論社)により田村俊子賞を受賞。他の著書に『ことばの食卓』(筑摩書房)『日々雑記』(中央公論新社)など。今年、単行本未収録エッセイ集『あの頃』(中央公論新社)が出版されました。

日記を書こうと思い立ったものの、何を書こうか、人はどんなことを日記に残すのだろうと考えたところで思い出したのが、『富士日記』です。

富士山麓の別荘での日々をつづった日記です。富士山の様子、湖での水浴び、雪道の運転、日常の些細な買い物や献立、管理人や工事の人たちとのやり取り。不自由なことも多い別荘の生活をこの作家の感性、観察眼、独特の表現がなんと魅力的な毎日を送っているのかと想像させてしまいます。見たこと感じたことをそのまま淡々と記しているだけなのに不思議です。夫の武田泰淳氏は百合子さんの傍らにいてさぞ退屈しない時を過ごしたのだろうと、不遜にも含み笑いも浮かんできました。

日記は人に読ませるものではなく、自分の覚書なのだから構えなくていいのだよと教えられます。来年こそは日記を・・・と思われる方、一読の価値あります。

(本館 林)

### 米澤 穂信

(よねざわ ほのぶ 1978年岐阜県生まれ)  
2011年日本推理作家協会賞を、2014年に『満願』(新潮社)で山本周五郎賞を受賞。他著に『王とサーカス』『真実の10メートル手前』(どちらも東京創元社)などがある。

今回ご紹介するのは、2001年に角川学園小説大賞奨励賞を受賞し、米澤さんのデビュー作となった『氷菓』(角川書店)です。何事にも積極的にには関わろうとしない“省エネ”スタイルをモットーとした高校生の折木奉太郎は、姉からの命令により廃部寸前の古典部に入部することに。同じく古典部に入部希望という千反田えると出会い、日常に潜む不思議な謎を次々と解き明かしていく。そしてえるの叔父が関わっていた古典部文集「氷菓」に秘められた33年前の真実が明らかになる…。ほんのり苦い学園青春ミステリー、古典部シリーズの第1作目ともなる今作はアニメ化もされましたが、今年11月には実写映画化もされるとのこと。また米澤さんの出身校である岐阜県高山市にある岐阜県立斐太高校がロケ地となったようで岐阜県民としては話題になるのかな、と思いました。小説の神山高校のモデル校とのこと。

(桜ヶ丘分館 小島)

## あたらしく入った本

分類	書名	著者名	出版者名
情報・読書			
015/オ/	<b>才能を引き出した情報空間</b> 彼らの才能はいかに図書館で鍛えられたか？ 情報空間から何を引っ張り出してきたか？ 落合陽一、三上延、荻上チキなど、各界のトップランナー12 人に、図書館活用術と、知の生み出される過程についてインタビューする。	岡部晋典／著	勉誠出版
019.5/ハ/	<b>昭和こども図書館</b> 著者が小学生時代を過ごした 1970 年代のものを中心に、小学校の図書館や教室の学級文庫に蔵書されていた児童書、多くの小学生たちがお小遣いで買った児童書のなかから選んだ、「懐かしい本」100 点あまりを紹介します。	初見健一／著	大空出版
哲学			
121.6/タ/	<b>学生を戦地へ送るには</b> 日米開戦前夜、京大の哲学教授はいかにしてエリート学生を洗脳し、戦地へ送ったのか？ 田辺元による「悪魔の講義」の構造を解明し、〈戦前回帰〉の進む現代に警鐘を鳴らす。著者が 2015 年 6 月に行った合宿講座の全記録。	佐藤優／著	新潮社
伝記・地理			
209/シ/	<b>新もういちど読む山川世界史</b> 高校の教科書「世界の歴史(改訂版)」をベースに、一般の読者を対象として記述を見直し、時代に即応した簡潔かつ明確なかたち書き改めた通史。現代の理解の手助けとなるテーマを解説したコラムも掲載。	「世界の歴史」編集委員会／編	山川出版社
289.1/7/	<b>明智光秀の生涯と丹波福知山</b> 信長に仕える前のことや、信長の「天下布武」実現に果たした役割を明らかにしながら明智光秀の素顔に迫る。また、丹波支配の実際の様子や、福知山築城および町づくり、本能寺の変を引き起こした理由についても掘り下げる。	小和田哲男／監修	福知山市役所
289.1/サ/	<b>西郷どん入門</b> 現代人が失いつつある日本人の美德を体現し、最も愛された人、西郷隆盛。その知られざる劇的な一生を振り返り、人間像や思想、美学、人間関係を信頼できる史料から明らかにする。	北影雄幸／著	勉誠出版
社会			
301/オ/	<b>大人のための社会科</b> GDP、多数決、公正、希望…。気鋭の社会学者が、日本の社会を形づくっている 12 のキーワードを取り上げ、それぞれの意味を根底から吟味。日本社会の「いま」と「これから」を見通す、共通のプラットフォームを提供する。	井手英策／著	有斐閣
316.4/ウ/1	<b>ブラック・フラッグス 上・下</b> 「イラクのアル=カーイダ」の創設者ザルカウィの生い立ちから、「イスラム国」の指導者バグダディによるカリフ制宣言まで、疑似国家の変遷と拡大の背景を迫真の筆致で描くノンフィクション。	ジョビー・ウォリック／著	白水社
369.3/イ/	<b>命を守る水害読本</b> 水害で直面する「はじめての避難」に役立つ情報を提供する一冊。逃げ遅れを防ぐための災害心理学、避難の方法等を解説するほか、水害レポート、気象の基礎知識、水害のメカニズム、減災への取り組みも収録。	命を守る水害読本編集委員会／編著	毎日新聞出版
379.9/サ/	<b>子どもの語彙力を伸ばすのは、親の務めです。</b> 語彙力を磨くことで子どもの可能性は無限に開かれていく。親子のコミュニケーションの中で子どもが語彙力を伸ばし、言葉を自分のものとして自在に操れるようにするための方法を提案する。	齋藤孝／著	KADOKAWA
自然科学・医学			
417/ク/	<b>大学 4 年間の統計学が 10 時間でざっと学べる</b> 東京大学で教えられている統計学を凝縮した一冊。記述統計から回帰分析、ARCH モデルまで解説する。1 項目見開き 2 ページで、右ページには用語や事柄の相関関係がひとめでわかる図版か表を掲載する。	倉田博史／著	KADOKAWA
491.3/モ/	<b>いきなりサイエンス</b> 年を取るほど時間が早く経つように感じるのはなぜ？ 写真うつりと実物がちがうのはどうして？ 日常のふとした疑問を、科学的に面白く解明する。YouTube の動画チャンネル『Asap SCIENCE』を書籍化。	ミッチェル・モフィット／著	文響社

技術、家政

- 523.0/ズ/ **こんな建物だれがどうしてつくったの?** ジョン・ズコウスキー／著 東京美術  
 ボストン現代美術館、モスクワ大学…。建築界の常識を打ち破る独創的な 100 の建物を取り上げ、構造や素材、機能性や芸術性、新しい技術との関わり、建築家と依頼主の関係などについて解説する。
- 583.7/オ/ **よみがえる飛驒の匠** 岡田賛三／著 幻冬舎メディアコンサルティング  
 後継者育成、製品開発、ブランディング、販促、生産体制、地域プロモーション。赤字企業からV字回復を果たした老舗木工家具メーカーの経営者が、地場産業を復活させる6つの改革を、事例をもとにわかりやすく解説する。

産業

- 626/イ/ **育苗からわかる野菜づくり** 野口貴／共著 誠文堂新光社  
 果菜類から豆類まで、全 36 品目の野菜の栽培方法を解説。野菜全般に広く応用できる育苗の基本技術や被覆資材の使い方などについて、写真や図表を交えて記述する。
- 675.1/オ/ **くらべる値段** おかべたかし／文 東京書籍  
 もが気になる「値段」の謎を徹底調査! ¥270 と ¥1000 の海苔、¥9000 と ¥20000 の包丁など、同じ品目でありながら値段が異なる 2 品を比較し、写真とともに、その違いがどこにあるかを解説する。

芸術

- 721.6/ナ/ **長沢芦雪(とんぼの本)** 岡田秀之／著 新潮社  
 愛らしい仔犬から不気味すぎる山姥まで。「奇想派」の絵師のびっくり絵画と、短くも波瀾万丈の人生を、新進の研究者が案内する。日本美術史界の泰斗、辻惟雄×河野元昭がその魅力を語り尽くす「芦雪放談」も収録。
- 769.9/ナ/ **スカートはかなきゃダメですか?** 名取寛人／著 理論社  
 「少年のような少女時代」「バレエとの出会い」「性別適合手術で男性に」「結婚と家庭」…。世界的に有名な男性だけのバレエ団で活躍した唯一の日本人・名取寛人が語る、女として生まれて男になるまでと、夢の叶え方。
- 796.0/フ/ **天才棋士降臨・藤井聡太** 書籍編集部／編 日本将棋連盟  
 400 年に 1 人の天才・藤井聡太四段。炎の七番勝負の自戦記や、羽生善治三冠、師匠・杉本昌隆七段ほかトップ棋士のコメントなどから、29 連勝までの足取りを振り返り、その強さの秘密に迫る。

日本文学—小説

- 913.6/アサ/ **末ながく、お幸せに** あさのあつこ／著 小学館  
 ある式場で、九江泰樹と瀬戸田萌恵の披露宴が開かれていた。出席者は、様々な思いを胸に言祝ぎを花嫁に贈る。その中には、萌恵の実の母と育ての母も含まれていた…。
- 913.6/アシ/ **バック・ステージ** 芦沢央／著 KADOKAWA  
 人気演出家の舞台の周辺で起きた 4 つの事件。バラバラだったピースは、2 人の男女のおかしな行動によって繋がって…!? 気分爽快ミステリー。
- 913.6/イケ/ **ヒストリア** 池上永一／著 KADOKAWA  
 第二次世界大戦時の沖縄で家族を失い、魂(マブイ)を落としてしまった知花煉。一時の成功を収めるも米軍のお尋ね者となり、ボリビアへと逃亡。試練を乗り越え、自分を取り戻そうとするが…。
- 913.6/ドウ/ **ランニング・ワイルド** 堂場瞬一／著 文藝春秋  
 最も過酷な「アドベンチャーレース」に参加した機動隊員が、家族を人質に脅迫された。妻子を救い、犯人を追い詰めて、そしてレースに勝利できるのか。
- 913.6/ナカ/ **R 帝国** 中村文則／著 中央公論新社  
 舞台は近未来の島国・R 帝国。ある日、矢崎は R 帝国が隣国と戦争を始めたことを知る。国家を支配する絶対的な存在“党”と、謎の組織“L”。やがて世界は、思わぬ方向へ暴走していく。
- 913.6/ナカ/ **ワルツを踊ろう** 中山七里／著 幻冬舎  
 20 年ぶりに帰郷した了衛を迎えたのは、閉鎖的な村人の好奇の目だった。彼は愛するワルツの名曲〈美しく青きドナウ〉を通じ、荒廃した村を立て直そうとするが…。どんでん返しミステリ。

913.6/ミヤ/	<b>つぼみ</b>	宮下奈都／著	光文社
	まだ何者でもない、何者になるのかもわからない、わたしの、あなたの、世界のはじまり。「スコーレ No.4」の女たちが花と向き合い葛藤する姿を描いたスピノフ 3 編を含む珠玉の作品集。		
913.6/ミヤ/	<b>この世の春 上・下</b>	宮部みゆき／著	新潮社
	美貌の青年藩主・重興が、突然隠居を強いられるという変事のあった北見藩。重興の押し込められた座敷牢からは、夜な夜な奇怪な声。亡者たちの叫びか、それとも…。サイコ&ミステリー長編。		
913.6/ヤナ/	<b>風神雷神 風の章・雷の章</b>	柳広司／著	講談社
	扇屋「俵屋」の養子となった伊年。俵屋の扇は日に日に評判を上げ、伊年は「平家納経」の修理を任せられ…。「ジョーカー・ゲーム」の著者が、世界が憧れた謎の絵師・俵屋宗達を描く!		
913.6/ユイ/	<b>淳子のてっぺん</b>	唯川恵／著	幻冬舎
	2016年10月に逝去した登山家・田部井淳子。男女差別が色濃い時代、女性として初めてエベレスト登頂に成功した彼女は、どのように生き、どのように山に魅入られたのか。“てっぺん”に至るまでの日々を描く、感動長篇。		
913.6/ユス/	<b>盤上の向日葵</b>	柚月裕子／著	中央公論新社
	山中で発見された白骨死体。現場に残された唯一の手がかりは伝説の名駒だった。4か月後、2人の刑事が竜昇戦の会場である天童に降り立つ。世紀の対局の先に待っていた、壮絶な結末とは。		

### 外国文学

930.2/キ/	<b>ドナルド・キーン (別冊太陽 日本のこころ 254)</b>		平凡社
	本の文学そして伝統について確固とした主張ができる屈指のジャパノロジスト、ドナルド・キーン。これまでの人生の軌跡と日本文化に大きく貢献した業績を、直筆原稿、書簡、愛用品、数多くの写真とともに、多面的に紹介する。		
933.7/モ/1	<b>湖畔荘 上・下</b>	ケイト・モートン／著	東京創元社
	70年前、コーンウォールの廃墟のような館・湖畔荘から赤ん坊が消え、事件は迷宮入りとなった。捨てられた屋敷に隠された家族の秘密とは? 問題を抱えたロンドン警視庁の女性刑事が、独自の捜査を始める。		

## 展 示 の ご 案 内

■ 9/30 (土) ~ 10/26 (木) ■

### バラコレクション展 (本館1階)

可児市には花フェスタ記念公園があり、市の花にもバラが選ばれています。バラについての本を集めました。園芸の本や写真集、絵画集、絵本など、眺めるだけでも目の保養になりそうです。

10月27日から11月9日は「読書週間」です。  
秋の夜長、ゆったり読書を楽しみましょう。

■ 10/28 (土) ~ 11/23 (木) ■

### 読書週間特集 科学道100冊展 (本館1階)

日本で唯一の自然科学の総合研究所・理研が主導する、「科学道100冊」フェアの本を展示します。科学者たちの見方・生き方・考え方に触れることのできる良質な本をご紹介します。

本に  
恋する  
季節です!



2017・第71回  
読書週間  
10/27 ~ 11/9

### 開館時間

【本館】 平日 10:00~19:00、  
土日祝 10:00~17:00  
【分館】 全日 9:00~17:00

休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日

10月 4,9,16,23,27,30日

※桜ヶ丘分館臨時休館 10月22日(日) 選挙のため

11月5日(日) 桜ヶ丘ハイツ秋まつり開催のため(当日は、桜ヶ丘公民館駐車場がまつり会場になるため駐車できません。返却ポストに本を返す際もご注意ください。)

携帯用  
サイト



「図書館だより」2017年10月号

発行：可児市立図書館 編集：長谷川(本館) 電話(0574)62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。